

原発あかん・橋下いらん・弾圧やめて!

フクシマと結ぶ 音の力いのちの言葉 (Vol.13)

5.27 岡真理 講演会

2018

5月27日 開場12:00
開演12:45
終演17:00

※第1部と第2部の途中に30分の休憩と
喫茶軽食(実費)あり。
開場後45分と講演会終了後30分間は、
会場とロビーにてご自由に交流なさってください。

西淀川区民ホール

〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島3-13-3



・JR東西線[御幣島]3番出口 徒歩約10分
・JR神戸線[塚本]西口 徒歩約15分

※会館への問い合わせはご遠慮ください。
「西淀川区民会館」ではありません。ご注意ください!

入場料は徴収しません。

事前に
「参加協力券 ¥1,000」を
お買い求め下さい。
(申込方法は裏面に。)

■ 主催・問い合わせ

実行委員会/コラボ玉造 [TAMAZO] 気付け

〒544-0031 大阪市生野区鶴橋3-6-24

FAX 06-6763-0211 メール tamazo@fanto.org TEL090-8146-1929 [au]

WEB [黄土(ファント)通信] http://fanto.org (スケジュール欄から申し込みできます。)

■ 後援 新聞「うずみ火」



イスラエル「建国」70年の意味
～パレスチナから日本を撃つ

第1部 12:45~14:30

抵抗歌・反戦歌
パギヤン

特別報告 1

「武器を持たば平和になる？」
ダニー・ネフセタイ



スタンダップ・コメディ
ナオユキ

「何か日常になるの？」
お話 元自衛官 小多基実

特別報告 2

「反戦自衛官の闘い」
小多基実夫

福島報告、沖縄便り、アピール、等々



第2部 15:00~17:00

講演 岡真理さん(京都大学教員)

☆質疑応答なども行います

同時開催 未来のための歴史パネル展



1948年 70周年

この年、美空ひばりが歌手デビュー、

太宰治は愛人の女性と共に玉川上水で入水自殺をしました。衆参両議院では「教育勅語排除」が決議され、国連「世界人権宣言 (Universal Declaration of Human Rights)」が採択されました。日本の文部省が朝鮮学校閉鎖令を出し、学校を死守するために立ち上がった在日朝鮮人の闘いに対して、GHQは阪神間に戒厳令を布いて弾圧しました。これこそが、朝鮮学校の高校無償化からの排除をはじめ、様々な制度的差別と弾圧姿勢の嚆矢です。また、戦後最大の疑獄事件と言われた「昭和電工事件」が起き、戦後最大の労働争議と評された「東宝争議」は終結を余儀なくされ、誇り高き全日本学生自治会総連合 (全学連) が結成されたのもこの年でした。

そして、済州島「四・三事件」で8万人が虐殺され、大韓民国 (8月13日) と朝鮮民主主義人民共和国 (9月9日) がそれぞれの政府樹立を宣言、今も続く朝鮮半島の分断が始まりました。さらに、イスラエル「独立」 (=シオニスト政権によるパレスチナ占領、5月14日) に対して、アラブ連盟が宣戦して第一次中東戦争が勃発しました。

今年は、戦後の冷戦体制とその後の歴史の原点とも言うべき重要な出来事が様々に起きて、70周年を迎えるのです。

ナクバ! 70年

パレスチナの人々は、イスラエル建国=パレスチナ占領の日を「ナクバ・大災厄の日」と呼びます。パレスチナの占領当初から今日に至るまで、パレスチナの人々はイスラエル・シオニスト政権による暴力と非人道的行為に晒され続けてきました。

西側の植民地主義的な欲望のためにパレスチナが中東危機の中心地となり、21世紀の現在もアメリカとイスラエルの関係が強固に継続しているが故に、パレスチナ問題は何ら解決されておらず、むしろ悪化の一途を辿

っているとと言っても過言ではありません。

1948年から現在に至るまで、様々な国連機関がイスラエルを非難する決議を出しています。パレスチナにおけるシオニスト入植地建設に反対する数十もの決議、分離壁の建設に関するオランダ・ハーグ国際司法裁判所の違法宣言、ベイトルモガッダスの歴史的・宗教的な遺産の破壊に対するユネスコの一連の抗議、人口密集地帯への食料と医薬品の移送を制限するガザ封鎖や、2008年のガザ地区攻撃における使用禁止兵器の利用への抗議、等々は、非人道的なイスラエルの政策に対する、国際社会からの抗議の一部にしかすぎません。

安倍ファシスト政権とイスラエル

日本の政治と政府を乗っ取ったファシスト・安倍晋三とその政権は「北朝鮮の核・ミサイルの脅威」を盛んに強調し、軍備増強を正当化し、北朝鮮への先制攻撃すら辞さないと言明して憚ることを知りません。また、実戦で使える小型核兵器の開発をすすめて核廃絶へ向かう人類の希望を踏みにじるトランプ政権を「100%支持」しているのです。「エルサレムをイスラエルの首都と認め、大使館を移す」というトランプの決定 (2017年12月) に世界中が異議を唱え、非難の声を上げているにもかかわらず、日本政府だけが沈黙をしている…。そればかりか、安倍は2014年にネタニエフ・イスラエル首相と『日本・イスラエル間の新たな包括的パートナーシップの構築

に関する共同声明』を発表、軍事・経済・科学技術・宇宙開発・文化交流など、あらゆる分野で協力関係を深め合うことを内外に示しました。これは、日本とイスラエルが「準同盟国になった」という宣言であり、軍事面における協力関係が突出して進展するのは、火を見るより明らかです。もちろん、日本の「集団的自衛権の行使目的」とも連動していることは二言を要しません

皆さんは、日本の全ての原発の安全管理をイスラエルの「マグナBSP社」が行っていることをご存じですか? この会社のセキュリティ技術は、イスラエルがガザ地区に対する管理・弾圧・爆撃などで培ったノウハウだと言われています。また、1967年以来イスラエルが軍事占領を続けているシリア領ゴラン高原で生産活動を行っている企業が「イスラエル・ゴラン高原ワイン」と称して日本で販売しているのです。中には、パレスチナ西岸地区のイスラエル入植地で生産されたブドウを使用しているものもあるそうで、すでにボイコット運動が起きています。

「アベ政治を許さない」私たちは、「70周年」の今年、この年に、<明治維新150年祝賀>などに騙されることなく、冷静に国際情勢を把握し、正しく歴史を学び、そして、大同小異の精神を大いに発揮して、絶望を希望に鑄造し直そうではありませんか!

「5・27岡真理講演会」に、あなたも是非ご参集下さいませ。

実行委員会一同 拝。

岡真理さんプロフィール

1960年、東京生まれ。現代アラブ文学研究者。東京外国語大学アラビア語科でアラビア語とアラブ文学を学ぶ。在学中に、パレスチナ作家ガッサーン・カナファーニーの作品を読み、「パレスチナ問題」とアラブ文学に出会い、以来、パレスチナ難民をはじめ、種々の構造のなかでサバルタン化される者たちの生きられた経験を描いた文学作品を通して、現代世界に生きる人間の普遍的な思想課題としてパレスチナ問題について考究を続ける。著書に『アラブ、祈りとしての文学』 (みすず書房、2008年)、

『椰子の木陰で 第三世界フェミニズムと文学の力』 (青土社、2006年) ほか。訳書に、ターハル・ベン=ジェルーン『火によって』 (以文社、2012年) など。近年は学生・市民有志による、平和を目指す朗読集団「国境なき朗読者たち」を主宰、ガザをテーマとする朗読劇「The Message from Gaza ~ガザ希望のメッセージ~」の脚本、演出を担当、京都を中心に日本各地で上演活動を続けながら、「文学」の力と「肉声」がはらみもつ可能性を実践的に追究している。

「5・27」実行委員会では、賛同団体、賛同人 (個人) を広く募っています。

趣旨に賛同される方は下記①と同じ方法でご連絡下さい。

① 下記のいずれかの方法で、住所・氏名・電話番号と、必ず枚数をお知らせ下さい。
[振り込み用紙] 同封でお送りします。

電話 090-8146-1929 (au)

F a x 06-6763-0211

メール tamazo@fanto.org

「コラボ玉造」まで 葉書か封書

② 郵便振替口座に「5・27 参加協力券 ○枚希望」とお書きになってご送金下さい。一枚につき、¥1,000です。入金が確認され次第、ご指定の住所・氏名まで郵送いたします。
【口座番号】 00940-5-312873
【加入者名】 企画・出版 黄土 (ファント)

※事務処理の関係上、お振込みの締切は5月21日 (月) とさせていただきます。それ以降は、電話・ファックス・メールでお申し込み下さい。

お申し込み方法
参加協力券